

手塚愛子 AIKO TEZUKA

1976年東京生まれ。現在はベルリンと東京の二拠点で作品制作を行う。

2001年武蔵野美術大学大学院油画コース修了(戸谷成雄氏に師事)。2005年京都市立芸術大学大学院油画領域博士(後期)課程修了(宇佐美圭司氏に師事)。2010年五島記念文化賞美術新人賞により渡英。その後文化庁新進芸術家海外研修制度により渡独。

織られたものを解きほぐす作品を1997年より開始し、歴史上の造形物を引用、編集しながら新たな構造体を作り出す、独自の手法により制作を続ける。

近年の展覧会は京都国立近代美術館、横浜美術館、国立国際美術館、熊本市現代美術館、岡崎市美術博物館、東京都現代美術館、福岡市美術館、豊田市美術館、国立新美術館、兵庫県立美術館(以上日本)、ルーマニア国立美術館(ルーマニア)、プラナカン博物館(シンガポール)、キール市ギャラリー(ドイツ)、ベルリンアジア美術館(ドイツ)、浙江美術館(中国)、アムステルダム国立美術館(オランダ)、マンハイム美術館(ドイツ)、テキスタイル博物館(オランダ)、ハンブルク美術工芸博物館(ドイツ)、ヨハン・ヤコブ美術館(スイス)、韓国国立現代美術館(韓国)、ターナー・コンテンポラリー現代美術館(イギリス)、アヤラ美術館(フィリピン)などにて多数。

ウェブサイト: <http://aikotezuka.com/>

Instagram: <https://www.instagram.com/aikotezuka/>

Biography

1976

8月 東京生まれ

1999

3月 武蔵野美術大学 造形学部油絵学科 卒業

2001

3月 武蔵野美術大学大学院 造形研究科油絵コース 修了

2005

3月 京都市立芸術大学大学院 美術研究科 博士(後期)課程 油画領域 修了 博士号(美術)取得
博士論文「織りとしての絵画」

2006 - 2009

京都市立芸術大学、京都造形芸術大学、吉備国際大学 非常勤講師

2010

2月 五島記念文化賞美術新人賞により渡英

2011

3月 文化庁新進芸術家海外研修制度により2年派遣研修員として渡欧

2012 - 2013

4月 Künstlerhaus Bethanien(ベルリン)にて International Programアーティスト・イン・レジデンスに参加

Recent Selected Solo Exhibitions

2024

「手塚愛子」協力: KYOTO INTERCHANGE、半兵衛麩五条ビル 2F ホール Keiryu、京都

2023

「March, 2023, Tokyo」MA2 Gallery、東京

2022

「Aiko Tezuka – (Re)weaving Histories」アムステルダム国立美術館 アジアパビリオン、アムステルダム、オランダ

2021

「STUDIO-Exhibition with Aiko Tezuka」マンハイム市立美術館、マンハイム、ドイツ

2015

「Stardust Letters – 星々の文」兵庫県立美術館、兵庫

「Unraveling, Restoring」アヤラ美術館、マニラ、フィリピン

2014

「Thin Membrane, Pictures Come Down」Dortmunder Kunstverein、ドルトムント、ドイツ

「Certainty / Entropy」Third Floor Hermès Singapore、シンガポール

2013

「Ghost – Suspended Organs」Künstlerhaus Bethanien、ベルリン、ドイツ

2007

「気配の縫合 – 名前の前に」公開制作、府中市美術館、東京

Recent Selected Group Exhibitions

2026

「Man <3 Machine - 25 Years of TextielLab」テキスタイル美術館、ティルブルフ、オランダ

2025

「セカイノコトワリー 私たちの時代の美術」京都国立近代美術館、京都

「コレクション展」横浜美術館、神奈川

「EXPO 2025 大阪・関西万博(日本国際博覧会)」迎賓館バンケットルーム、大阪・夢洲

「コレクション2 Undo, Redo わたしは解く、やり直す」国立国際美術館、大阪

「Cut From The Same Cloth: Textile & Technology」パロ・アルト・アートセンター、カリフォルニア、アメリカ

2024

「Dissonance – Platform Germany #3」ルーマニア国立美術館、ブカレスト、ルーマニア

「GIII_Vol.157 CAMKコレクション『それはいつかの だれかの どこかの 世界』」熊本市現代美術館、熊本

「バティック・ニョニヤ(女性バティック作家たち):三世代にわたる芸術と起業家精神」プラナカン博物館、シンガポール

「ひらいて、むすんで」岡崎市美術博物館、愛知

2023

「アーティスト、コレクター、学者:日本美術コレクションへの女性の貢献」アジア美術館、ベルリン、ドイツ

2022

「クリスチャン・ディオール、夢のクチュリエ」東京都現代美術館、東京

「杭州ファイバーアートトリエンナーレ」浙江美術館、浙江省杭州市、中国

2020

「Linking Transformations - Positionen japanischer und norddeutscher Gegenwartskunst」キール市ギャラリー、キール、ドイツ

「コレクションハイライト」福岡市美術館、福岡

2019

「MOTコレクション:ただいま / はじめまして」東京都現代美術館、東京

「百年の編み手たち – 流動する日本の近現代美術 –」リニューアル・オープン記念展、東京都現代美術館、東京

「これがわたしたちのコレクション+インカ・シヨニバレCBE: Flower Power」リニューアルオープン記念展、福岡市美術館、福岡

2018

「Cultural Threads」テキスタイル美術館、ティルブルフ、オランダ

「Mobile Worlds or the Transcultural Museum of Our Present」ハンブルク美術工芸博物館、ハンブルク、ドイツ

「A Painting for the Emperor」ヨハン・ヤコブ美術館、チューリヒ、スイス

2017

「New Acquisitions 2013~16 Samramansang from KIM Whanki to YANG Fudong」韓国国立現代美術館、果川、韓国

「Entangled: Threads & Making」Turner Contemporary、マーゲート、イギリス

2016

「Nightfall (LE RETOUR DES TÉNÉBRES)」Musée Rath、ジュネーブ、スイス

「Schnittmengen」アジア美術館、ベルリン、ドイツ

2015

「アーティスト・ファイル 2015 隣の部屋—日本と韓国の作家たち」韓国国立現代美術館、果川、韓国

「アーティスト・ファイル 2015 隣の部屋—日本と韓国の作家たち」国立新美術館、東京

2014

「想像しなおし」福岡市美術館、福岡

2013

「To Open Eyes, Art and Textiles from the Bauhaus to Today」Kunsthalle Bielefeld、ビーレフェルド、ドイツ

「The Empire of Folds」Museum für Gestaltung、チューリッヒ、スイス

Awards

2010

文化庁新進芸術家海外研修制度二年派遣

I氏賞奨励賞(岡山県)

2009

五島記念文化賞美術新人賞 海外研修一年派遣

2005

VOCA展 佳作賞(上野の森美術館／東京)

2002

京展 京展賞(京都市美術館／京都)

Public Collection

プラナカン博物館(シンガポール)

京都国立近代美術館(京都)

国立国際美術館(大阪)

横浜美術館(神奈川)個人蔵・寄託

BLUE NOTE PLACE(東京)

板室温泉大黒屋(那須塩原)

THE HOTEL HIGASHIYAMA by Kyoto Tokyu Hotel(京都)

テキスタイル美術館(ティルブルフ、オランダ)

ヨハン・ヤコブス美術館(チューリッヒ、スイス)

The Art Museum in NorthTrøndelag (Kunstmuseet Nord-Trøndelag)(ナムソス、ノルウェー)

福岡市美術館(福岡)

ベルリン国立アジア美術館(ベルリン、ドイツ)

韓国国立現代美術館(韓国)

ハンブルク美術工芸博物館(ドイツ)

東京都現代美術館(東京)

豊田市美術館(愛知)

岡崎市美術博物館(愛知)

熊本市現代美術館(熊本)

高松市美術館(香川)

和歌山県立近代美術館(和歌山)

トヨタ自動車株式会社(愛知)